

リモートコンソールが接続できなくなる状態を復旧する方法

1. はじめに

HA8000-bd/BD10 では、リモートコンソール機能を備えております。サーバブレードを起動中、シャットダウン中、および再起動中にリモートコンソールを接続、または切断すると、ごく稀にリモートコンソール機能が停止することがあります。サーバブレードを起動中、シャットダウン中、および再起動中にリモートコンソールを接続、または切断しないでください。万が一、リモートコンソール機能が停止した場合は本情報を参考に復旧してください。

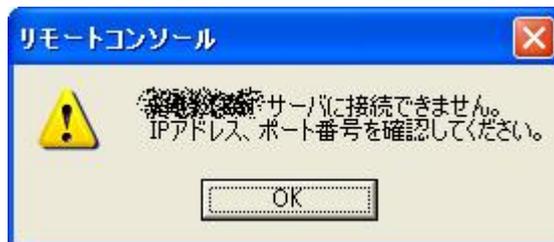
2. 適用機種、形名

本情報は、以下のモデルに関するものです。

HA8000-bd/BD10

3. 現象

今まで接続可能であったリモートコンソールが、接続時に以下のメッセージを表示し、接続できなくなる。



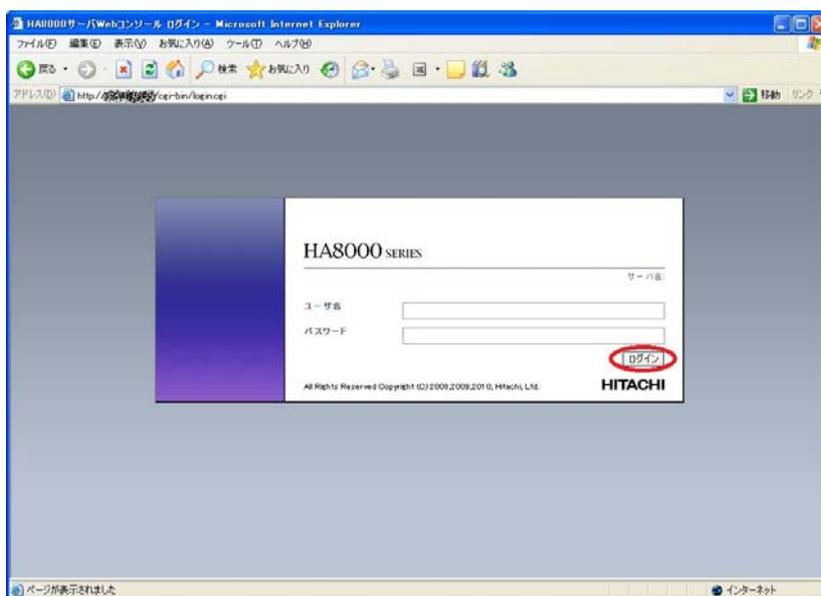
4. 復旧方法

リモートコンソール機能のポート番号を一時的に別のポート番号へ変更し、戻すことで復旧できることがあります。詳細な手順について、以下に示します。

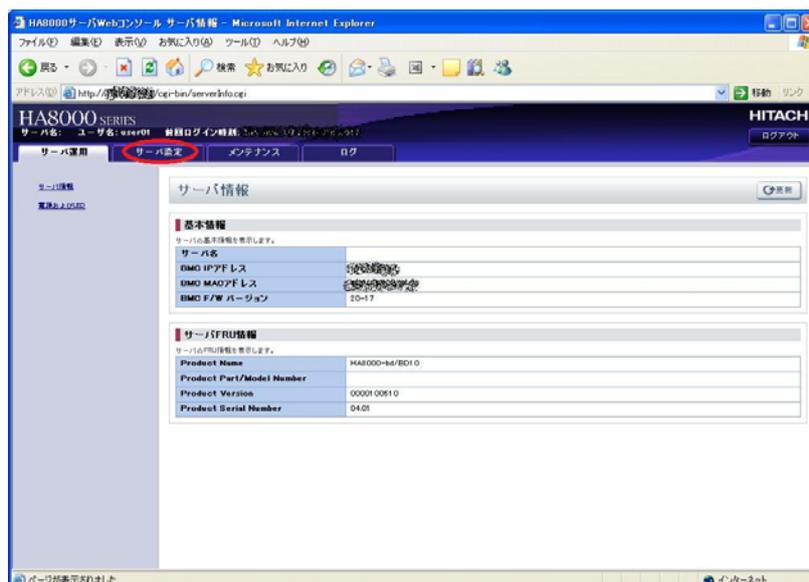
(1) リモートコンソールがインストールされた PC にて、Internet Explorer を起動し、アドレスバーに現象が発生したサーバブレードの BMC の IP アドレスを入力し、[Enter] キーを押下して下さい。

(2) ユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックして下さい。

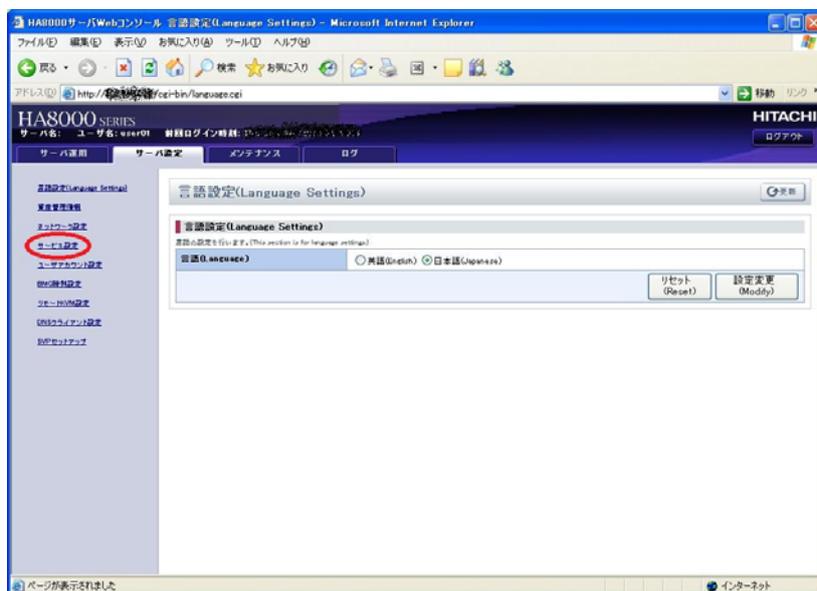
(※) 工場出荷状態では、ユーザ名: user01、パスワード: pass01 に設定されております。



(3) 画面上部にある [サーバ設定] タブをクリックして下さい。



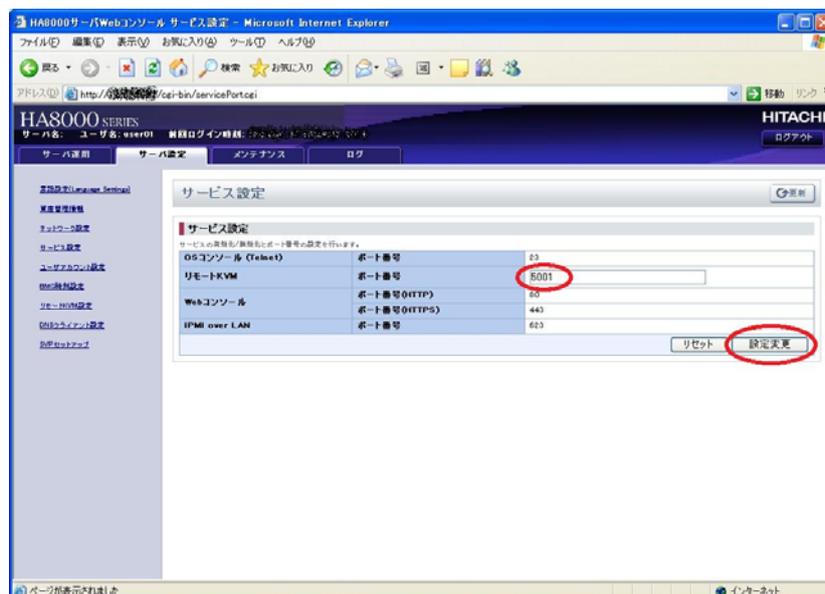
(4) 画面左側メニュー一覧の [サービス設定] をクリックして下さい。



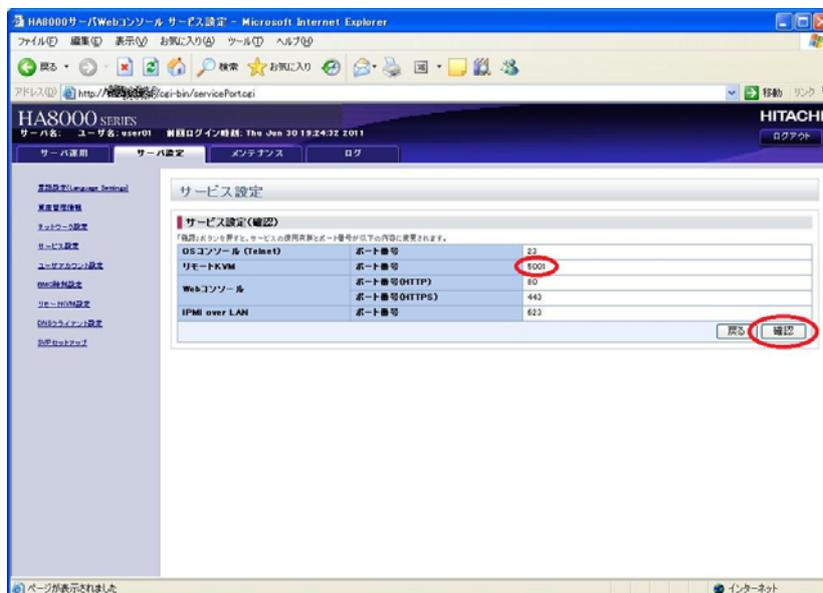
(5) リモート KVM のポート番号を確認し、控えて下さい。

(※) 工場出荷状態では、リモート KVM のポート番号は 5001 に設定されております。

(6) リモート KVM のポート番号を他のアプリケーションなどでは使用していないポート番号へ変更し、[設定変更] ボタンをクリックして下さい。



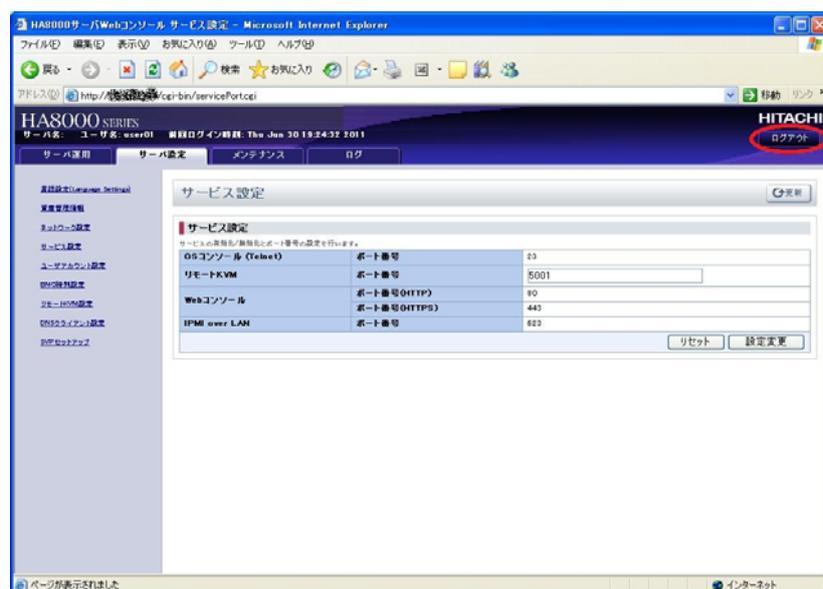
(7) リモート KVM のポート番号が変更されていることを確認し、[確認] ボタンをクリックして下さい。



(8) リモート KVM のポート番号を(5)で控えたポート番号へ変更し、[設定変更] ボタンをクリックして下さい。[(6)の画面を参照ください]

(9) リモート KVM のポート番号が(5)で控えたポート番号に戻っていることを確認し、[確認] ボタンをクリックして下さい。[(7)の画面を参照ください]

(10) 画面右上にある [ログアウト] ボタンをクリックして下さい。



(11) Internet Explorer を終了してください。

(12) しばらくしてからリモートコンソールが接続可能となることを確認してください。

以上で作業終了です。